



活用の手引



本書の使い方・内容一覧

SNS東京ノート

三つの方針

1. 「授業で使える」カード教材
2. 「トラブル事例を伝える」「危険を伝える」から「考えさせる」へ
3. 「日常のモラル」から「情報の活用」まで発達の段階を踏まえた構成

カード教材の使い方

- ・綴込みの教材を切り取って使います。
- ・3～5人のグループとなり、授業内容に沿って、自分が選んだカードをグループの全員に見えるように提示します。
その際、掛け声を掛けるなど、一斉にカードを出すようにすると効果的です。
- ・そのカードを選んだ理由を共有します。
- ・カードは無くさないように、裏表紙に封筒を貼るなど、工夫して保管してください。

指導のポイント

実際のコミュニケーションでは、トラブルがつきものです。もし、コミュニケーションのトラブルが起きてしまったら、そのトラブルをそれ以上大きくしないためにどのように対応したらよいかを考える必要があります。

こうしたトラブルへの対応には、「一つの答え」があるわけではありません。クラスの中で、上手なネットコミュニケーションの在り方についての最適解を児童・生徒と一緒に検討してみてください。

内容一覧

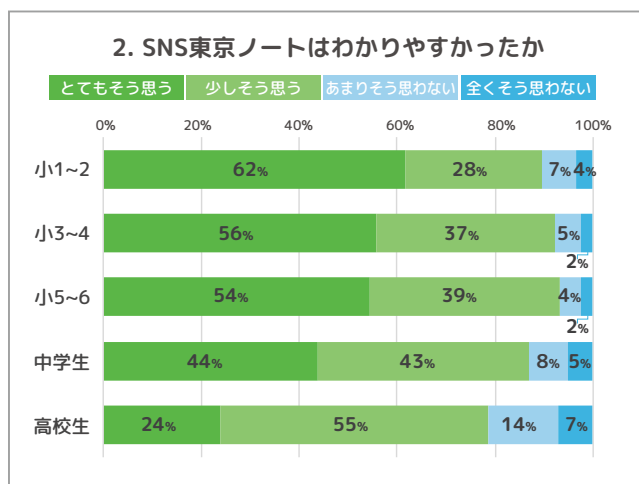
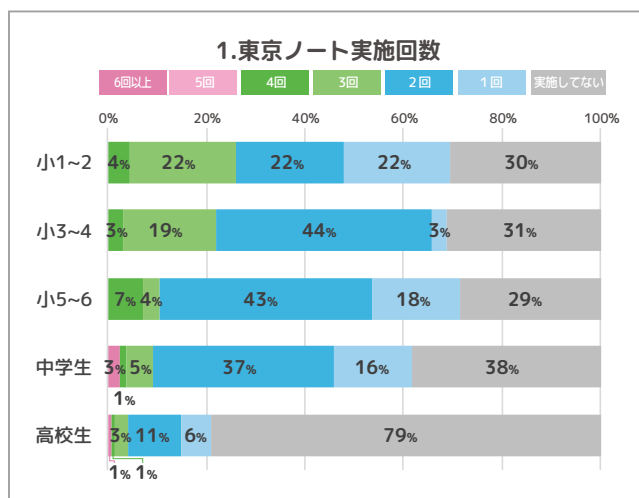
	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校	高校
テーマ	1. タブレット・パソコンの活用 2. 生活を見直そう 3. 使いすぎ① 4. 使いすぎ② 5. 自分と相手とのちがい	1. タブレット・パソコンの活用 2. 使いすぎ 3. 自分と相手とのちがい 4. これって悪口 5. 上手に検索	1. タブレット・パソコンの活用 2. 自分と相手とのちがい 3. 使いすぎ 4. 写真 5. メディアの特性 6. 情報を整理	1. タブレット・パソコンの活用 2. 自分と相手との違い 3. 写真 4. こんなつもりじゃなかったのに 5. 情報の真偽 6. 情報を比較・分析 7. キャッシュレス	1. 自分と相手との違い 2. 上手に伝える 3. 上手に検索 4. 災害時のSNS 5. スマホと上手に付き合おう 6. 上手に議論 7. セキュリティ 8. ネットでの体験 9. キャッシュレス
基本構成	・イラストから学ぼう ・カードで学ぼう ・情報を活用しよう ・ストーリーから学ぼう ・保護者のみなさまへ	・イラストから学ぼう ・カードで学ぼう ・情報を活用しよう ・ストーリーから学ぼう ・保護者のみなさまへ	・カードで学ぼう ・情報を活用しよう ・ストーリーから学ぼう ・保護者のみなさまへ	・カードで学ぼう ・情報を活用しよう ・ストーリーから学ぼう ・保護者のみなさまへ	・カードで学ぼう ・情報を活用しよう ・データを読み取ろう ・ストーリーから学ぼう ・保護者のみなさまへ

「東京ノート」活用調査結果

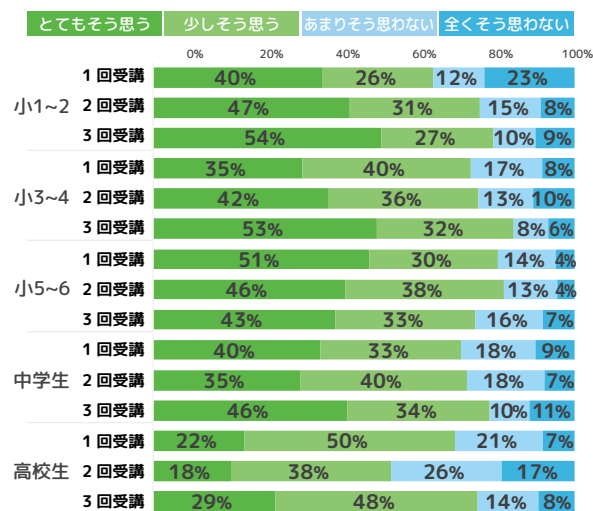
ここでは、「SNS 東京ノート2018」の効果測定およびネット利用実態把握調査で得られた知見の概要について述べます。まず、ネット利用実態把握調査では、特徴として以下の3点が挙げられます。

- ①自分のケータイ・スマホの保有率が年々上昇しており、特に小学校3-4年生の保有率は、42%（2017年）から61%（2018年）と急増している。
- ②ケータイ・スマホの使用時間は、中学生になると2時間を超える割合が大きく増加する。
- ③写真や動画の公開経験は、中1から増え始め、高校生になると約60%が体験している。

ケータイ・スマホの保有が低年齢化しており、特に6割が自分のスマホを保有する小学3-4年生から実践的な情報モラル教育が必要です。また、中学生段階での使いすぎや不適切な写真や動画の公開などのトラブルを予防するために、引き続き小学校からの段階的な情報モラル教育が重要であることが示唆されました。



3. 「SNS東京ノート」を使った授業での気づき有無と受講回数の関係



つぎに、「SNS 東京ノート2018」の効果では、特徴として以下の3点が挙げられます。

- ①昨年度と比較して、教員の実施割合は高まっている。特に、小学校では約70%、中学校では約60%が1回以上実施している。
- ②教材に関する教員及び児童・生徒の評価は昨年度同様に高い。全教員の93%が「（総合的に見て）情報モラル教育教材として適切だと思う」と回答しており、小学生全体の92%、中学生の87%、高校生の79%が教材を肯定的に評価している。
- ③3回以上実施した子どもたちの「新しい気づき」の割合が高く、教材の使用後の意識変容は、各年代とも「気づきあり層」が「気づきなし層」より高い。

研修などの効果などもあり、昨年度と比較して教員の実施割合は高まっています。昨年度の課題であった実施率の低さについては、大きく改善することができました。また、実施回数を重ねるほど、「新しい気づき」が生まれ、気づきが生まれれば、意識を変えることができるという点は特筆すべき点です。繰り返し実施することで、学習効果が上昇することが示唆されました。

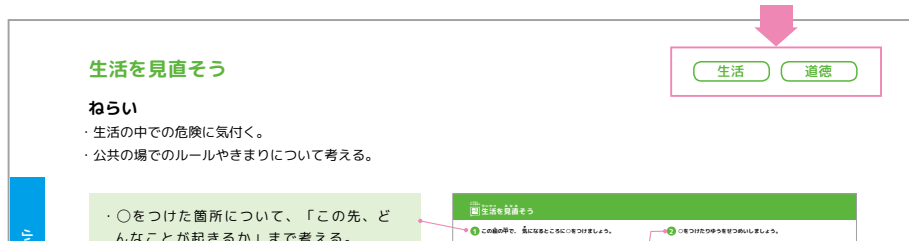
「SNS東京ノート」効果測定およびネット利用実態把握調査結果報告（平成30年度） <https://linecorp.com/ja/csr/newslist/ja/2019/220>

よくある質問

Q. どの時間で実施すればよいですか？

生活、道徳、学級活動、総合的な学習（探究）の時間、高校の情報科などでの実施を推奨しています。学校の実情にあわせて、カリキュラム・マネジメントの視点での各教科等との連携を御検討ください。

また、本書中のそれぞれの解説ページの右上に実施を推奨する教科等を記載しておりますので御参照ください。



Q. どのくらいの回数を実施すればよいですか？

学期に1回程度の実施を推奨しています。ある学校では、7月（夏休み前）、9月（夏休み明け）、2月（振り返り）の計3回実施しています。子供たちの実情に合わせた実施を御検討ください。

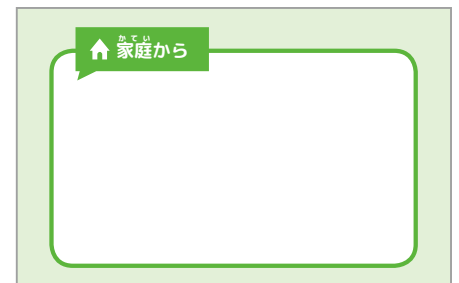
Q. 短時間でも実施できますか？

朝の学級活動や15分程度のモジュール学習で活用している学校も多くあります。また、総合的な学習の時間では、インターネット上で外部の人と交流をしたり、情報を発信したりする場面が多くありますが、その際に「SNS東京ノート」から必要な部分を取り出して指導することも可能です。

Q. 家庭との連携はどのように行えばよいですか？

小学校向けノートには「家庭から」という欄があり、授業で児童が記入したノートを持ち帰らせ、連絡帳のように双方向にやり取りをすることによって、学校と家庭とが連携した取組になります。

また、ある学校では、学校公開の機会を利用して、保護者参加型の授業に取り組んでいます。子供たちと一緒にカード教材を使った学習に保護者に参加してもらい、子供たちの意識の違いを認識したり、保護者の立場から子供たちへの思いを伝えたりするなどして、相互に学びを深め合う実践を行っています。



Q. 学校では、スマホ等の持ち込みを禁止しているので、情報モラルを教えなくてもよいですか？

これからの情報社会を生きていく子供たちには、情報機器の使い方だけでなく、情報モラル（情報を適切に活用するための基になる考え方や態度）を確実に身に付けさせていく必要があります。たとえ学校がスマホ等の持ち込みを許可していなくても、家庭等では情報機器に触れる機会が多くありますので、発達の段階を踏まえた指導が必要です。

Q. 「SNS東京ノート」は情報モラル教材として有効ですか？

調査結果では、SNS東京ノートについて、85%の教員が「情報モラル教育の教材として適切である」と評価し、74%の教員が「授業で使いやすい教材である」と評価しています。また、SNS東京ノートを使用した授業については、小1-3の84%、小4-6の86%、中学生の80%、高校生の67%が、「分かりやすい」と評価しています。詳しくは、P3を御覧ください。

1 小学校低学年 モデル指導案

モデル指導案：タブレットを上手に活用しよう

授業のねらい

- ・タブレットを活用する際に想定される様々なトラブルについて想像し、気づくことができる。
- ・タブレットを上手に活用するためのルールを考え、それらを守ろうとすることができる。

授業の流れ (45分)

時間	学習活動	準備物等
5分	1. 導入 ・現在、タブレットをどんなこと（どんな学習）に利用しているか、困ったことはないかについて共有する。 タブレットを上手に活用するためには、どんなことに気を付ければよいかを考えてみよう。	
20分	2. イラストから考えよう この絵の中で、気になるところに○をつけましょう。 ・○をつけ、その理由を考えさせる。 ・グループ、クラスで共有させる。 例えば、以下のような意見が予想される。 ・パスワードなどを聞こうとしている ・落としてしまっている ・強くタップしている ・関係のない動画を見ている ・片手でつかんでいる ・机の上が整理整頓されていないので、タブレットが落ちそう ・勝手に写真を撮ろうとしている	○実物投影機等で、イラストを大きく映し出すとよい。
15分	3. クラスのルールを考えよう これらのリスクを踏まえて、公開する範囲を考えてみましょう。 ・先生が話をしているとき、持ち運ぶとき、パスワードの管理、机の上の整理、という4つの視点でルールを考えさせる。 ・特に、IDとは各自の家のようなもの、パスワードは家のカギのようなものであり、自分できちんと管理することの重要性を伝える。	
5分	4. まとめ ・クラスのルールを守り、大切にタブレットを使うとともに、目を近づけすぎずに、休けいを取りながら使うようにすることを伝える。	

タブレット・パソコンを上手に活用しよう

生活

学活



P5のモデル
指導案を参考に
してください。

ねらい

- ・タブレットを活用する際に想定される様々なトラブルについて想像し、気づくことができる。
- ・タブレットを上手に活用するためのルールを考え、それらを守ろうとすることができる。

○の左から

- ・パスワードなどを聞こうとしているから
- ・落としてしまったから
- ・強くタップしているから
- ・関係のない動画を見ているから
- ・片手でつかんでいるから
- ・机の上が整理整頓されていないので、タブレットが落ちそうだから
- ・勝手に写真を撮ろうとしているから

タブレット・パソコンを上手に活用しよう

1 この絵の中で、気になるところに○をつけよう。

2 ○をつけたらゆづをせつめいしよう。

3 上手につかうためのルールを考えよう。

① 先生が話しているときは

② 持ち運ぶときは

③ 自分のパスワードは

④ つくえの止は

IDとパスワード
みなさんが使っているID（アイディー）とパスワードは、とても大切なものです。
ほかの人に知られないよう、きちんと管理しましょう。

考えよう「情報モラル」

- ・IDとは各自の家のようなもの、パスワードは家のカギのようなものであり、自分できちんと管理することの重要性を伝える。また、使用の姿勢や長時間の使用による眼精疲労に注意させる。

生活を見直そう

生活

道徳

ねらい

- ・生活の中での危険に気付く。
- ・公共の場でのルールやきまりについて考える。

- ・○をつけた箇所について、「この先、どんなことが起きるか」まで考えさせる。
- ・歩きながらのスマホやゲームの使用だけでなく、公共の場でのルールやきまりにも広く目を向けさせる。

- ・「自分はどうだろうか」と、自分の行動に当てはめて振り返らせる。

- ・ノートを家庭に持ち帰り、今日の授業で学んだことを保護者に伝え、「家庭から」の欄に記入してもらうよう伝える。

生活を見直そう

1 この絵の中で、気になるところに○をつけよう。

2 ○をつけたらゆづをせつめいしよう。

家庭から

学校から

つかいすぎでないかな①

生活

道徳

ねらい

- ・ 時間に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」について考える。
- ・ 友達と比較することで、「自分も使いすぎているかもしれない」という自覚を促す。

- ・ 子供、保護者のそれぞれの気持ちを考えた上で、「自分の使い方はどうかな」と自らの生活に当てはめて振り返らせる。

- ・ カード教材を使って、グループやクラスで「使いすぎ」だと思う時間を共有・比較することで、長い時間使用している子供が自ら「使いすぎているかもしれない」と気付くように促す。

- ・ ゲームやネットに多くの時間を使ってしまうと、やらなければならないこと（勉強や生活）に影響が出ること気付くようにする。

つかいすぎでないかな②

生活

道徳

ねらい

- ・ 主人公の行動に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」について考える。
- ・ 友達と比較することで、「自分も使いすぎているかもしれない」という自覚を促す。

- ・ 子供、保護者のそれぞれの気持ちを考えた上で、「自分の使い方はどうかな」と自らの生活に当てはめて振り返らせる。

- ・ カード教材を使って、グループやクラスで「使いすぎ」だと思う行動を共有・比較することで、子供が自ら「自分は使いすぎているかもしれない」と気付くように促す。

- ・ ゲームやネットに多くの時間を使ってしまうと、やらなければならないこと（勉強や生活）に影響が出ること気付くようにする。

自分とあいてとのちがい

生活

道徳

ねらい

- ・ 同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・ 自分の「いやな言葉」が、相手の「いやな言葉」と同じではないことに気付く。

- ・ ふきだしでは、たかしさんの怒った顔（3コマ目）、花子さんの不思議そうな顔（4コマ目）に注目しながら、理由を考えさせる。

- ・ カード教材を使って、自分の「いやな言葉」が相手の「いやな言葉」と同じではないことに気付くようにするため、グループやクラスで共有させる。

自分とあいてとのちがい

教室でのようです。

1 ふきだしに入ることばを入れましょう。

掃除をするのは当たり前だろ

ほめたつもりなのに

2 なぜ、たかしさんはおこってしまったのでしょうか。あなたの考えを書きましょう。

自分とあいてとのちがい

1 あなたが、クラスの友だちから言われて「あまりうれしくない」と感じることをひとつえらんでみましょう。

2 入に言われて「うれしい」と感じることはには、どんなことばがあるでしょうか。

3 子どものこと

4 家庭から

5 学校から

- ・ 「ありがとう」などの言葉を、自分がうれしかった経験と結び付けて考えるように促す。

るすばんをしていたときのできごと／ゲームの中の友だち

生活

- ・ なぜその番号を選んだのかを全体で共有させる(話し合いを行う。)
- ・ 顔が見えない場合、自分が想像している人とは違う場合があることに気付くようにする。
- ・ 電話番号や名前などを教えず、「分からない」、「家族に相談する」などと断る方法を伝え、必ず家族に報告するよう伝える。

るすばんをしていたときのできごと

たかしさんが、家でひとりでするすばんをしていると、電話が鳴りました。

はい、もしもし。

たかしさんですか。わたしは同じ小学校の〇〇の兄です。ひつは、〇〇さんに会いたくありません。電話は〇〇さんにかかるといいのですが、覚えてもらえません。

こんなとき、あなたならどうしますか。

① 番号を電話ばんこを教えてあげる

② わからないとつたえる

③ かそくにそうだんするとつたえる

ゲームの中の友だち

花子さんは、4人できょうりょくして、てきとたかゲームで遊んでいます。

さきん、「えりりん」さんというネットの中の友だちといっしょにたかゲームが楽しくなりました。いつも「えりりん」さんにたかゲームをもらうので、「えりりん」さんのことが好きになりました。

「えりりん」さんは、どんな人だと思えますか。

①

②

③

- ・ なぜその番号を選んだのかを全体で共有させる(話し合いを行う。)
- ・ 顔が見えない場合、自分が想像している人とは違う場合があることに気付くように促す。
- ・ 相手が自分が想像している人とは違う場合、どのような危険性があるかについても考えさせる。

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有させる（話し合いを行う。）。
- ・先に決めた約束を守ることにについて、考えさせる。
- ・「断るとき」には、どのような言い方をするのがよいかについて考えさせる。

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有させる（話し合いを行う。）。
- ・友達とけんかになってしまった経験について話し合わせる。
- ・自分だけで解決ができない場合があることについて考えさせ、その場合は大人に相談することの重要性について気付くように促す。

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有させる（話し合いを行う。）。
- ・絵をまねした場合、まねされた人（花子さん）がどのような気持ちになるかについて考えさせる。
- ・勝手に人の作品をまねしてはいけないことについて、そうした決まり（法律等）があることに気付くよう促す。

14 おうちのひととのやくそく

花子さんは、5時までに家に帰るやくそくをしていました。
友だちの家でゲームをしていたら、帰る時間になってしまいました。友だちからは「もう少しだけゲームしようよ」ときそわれました。

今日は5時までに帰ってきね
もう少しだけゲームしようよ
どうしよう

こんな時、あなたならどう話しますか。

① うん いいよ	② 今日はむり	③ おうちのひとと約束したから今日は帰るね
----------	---------	-----------------------

この時、友だちとけんかになってしまいました。
あなたならどうしますか。

① だれにもそうだんしない	② べつて友だちにそうだんする
③ 先生にそうだんする	④ 素直にそうだんする

⑤ 芽生こと

⑥ 家庭から

⑦ 学校から

15 友だちのまね

たかしさんは画工の時間に絵をかいていました。
クラスメイトの花子さんの絵がうまかったので、たかしさんもそれをまねしてかいたら、あんなからはめられました。

うまいなあ

たかしさんが、花子さんの絵をまねすることは、よいことなのでしょうか。

① まねをしてもいい	② ちょっと変えればまねをしてもいい	③ まねをしてはいけません
------------	--------------------	---------------

保護者のみなさまへ

家庭のルールについては、子供と保護者が話し合うだけでなく、保護者同士で家庭のルールを共有しておくことも重要なポイントです。例えば、保護者会等では、次のように活用することができます。

- ・それぞれのトラブルの事例について簡単に紹介する。
- ・学校（クラス）の実情を踏まえて、紹介することが望ましい。
- ・子供に起きやすいトラブルについて（子供と一緒に）グループ等で検討する。
- ・保護者がどのような不安を抱えているかについて、保護者同士で共有する。
- ・トラブルについて、①家庭でのルールづくり、②フィルタリングやアプリの設定、③ネットの特性の3つの視点から、どのように対応すればよいか、各ページを参照しながら考えてもらう。

16 部活、ケータイ・スマホトラブル分類表

現在のネットに関するトラブルは、大きく以下のように分類することができます。

1 長時間利用	2 高額課金	3 不適切サイトの閲覧	4 出会い
5 著作権の侵害	6 不適切情報の発信	7 個人情報の盗用	8 誹謗・いじり

① 子供と一緒に、起きやすいと思うトラブルにチェックを付けてながら話し合ってみよう。
② アプリやフィルタリングの活用を考えてみましょう。
③ 大きく3つの別冊が重要だ。

④ 家庭のルールを考へよう P20～21へ
⑤ フィルタリングやアプリの設定 P22～23へ
⑥ インターネットにおけるコミュニケーションの特性 P24へ

2 小学校中学年 モデル指導案

モデル指導案：使いすぎていないかな

授業のねらい

- ・主人公の行動に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」や「適切な行動」について考える。
- ・使いすぎないための家庭のルールについて考える。

授業の流れ (45分)

時間	学習活動	準備物等
10分	1. イラストから学ぼう ・イラストを見ながら、状況について確認する。 あなたがたかしさんならどうしますか。 ・クラスで意見を共有させる。 ・自分のこれまでの経験を踏まえ、どんなトラブルが生じる可能性があるか、どのような行動が適切かを話し合わせる。	○実物投影機等で、イラストを大きく映し出す。
20分	2. カードで学ぼう ・3～5名のグループとなり、カード教材を準備する。 「この人、ネットやゲームを使いすぎだなあ」と思う順にカードを並べてみましょう。 ・5枚のカードを、使いすぎだと思う順に並べ、グループの全員が見えるように提示させる。 一番使いすぎだと感じるカードを選んだ理由、一番使いすぎではないと感じるカードを選んだ理由を書きましょう。 ・グループで理由を説明し合わせる。 ・クラスで意見を共有させ、理由を発表させる。	○カード教材
10分	3. 使いすぎないためには ネットやゲームを使いすぎないためには、どのようなルールがあるとよいでしょうか。 ・家庭でどんなルールがあるとよいかを考えさせ、発表させる。	
5分	4. まとめ ・今日の授業で学んだことを記入させる。 ・ノートを家庭に持ち帰らせ、今日の授業で学んだことを保護者に伝え、「家庭から」の欄に記入してもらうよう伝える。	○カードをしまう封筒等

タブレット・パソコンを上手に活用しよう

生活

学活



P5のモデル
指導案を参考に
してください。

ねらい

- ・タブレットを活用する際に想定される様々なトラブルについて想像し、気づくことができる。
- ・タブレットを上手に活用するためのルールを考え、それらを守ろうとすることができる。

○の左から

- ・パスワードなどを聞こうとしているから
- ・落としてしまったから
- ・強くタップしているから
- ・関係のない動画を見ているから
- ・片手でつかんでいるから
- ・机の上が整理整頓されていないので、タブレットが落ちそうだから
- ・勝手に写真を撮ろうとしているから

タブレット・パソコンを上手に活用しよう

1 この絵の中で、気になるところに○をつけよう。



2 ○をつけたらゆずをせつめいしよう。

3 上手に使うためのルールを考えよう。

①

②

③

④

IDとパスワード

みなさんの使っているID（アイディー）とパスワードは、とても大切なものです。他の人に知られないよう、きちんと管理しましょう。また、タブレットを使うときは、ていねいに持ち運び、机の上を片付けてから使いましょう。

考えよう「情報モラル」



4

5

- ・IDとは各自の家のようなもの、パスワードは家のカギのようなものであり、自分できちんと管理することの重要性を伝える。また、使用の姿勢や長時間の使用による眼精疲労に注意させる。

使いすぎていないかな

学活

総合



P11のモデル
指導案を参考に
してください。

ねらい

- ・主人公の行動に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」や「適切な行動」について考える。
- ・使いすぎないための家庭のルールを考える。

- ・友達から「もうちょっと遊ぼう」と呼び止められた場面を扱いながら、「自分の使い方はどうかな」と自らの生活を振り返らせる。
- ・適切な行動について考えさせる。

使いすぎていないかな

たかしさんの友達のおうちでの様子です。



1 あなたがたかしさんならどうしますか。
家に帰る時間が決まっていることを友達に説明する。

使いすぎていないかな

1 「この人、ネットやゲームを使いすぎだな」と思う人にカードをならべてみましょう。

4 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

5 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

6 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

7 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

8 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

9 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

10 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

11 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

12 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

13 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

14 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

15 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

16 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

17 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

18 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

19 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

20 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

21 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

22 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

23 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

24 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

25 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

26 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

27 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

28 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

29 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

30 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

31 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

32 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

33 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

34 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

35 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

36 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

37 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

38 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

39 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

40 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

41 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

42 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

43 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

44 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

45 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

46 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

47 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

48 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

49 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

50 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

51 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

52 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

53 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

54 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

55 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

56 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

57 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

58 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

59 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

60 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

61 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

62 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

63 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

64 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

65 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

66 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

67 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

68 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

69 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

70 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

71 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

72 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

73 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

74 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

75 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

76 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

77 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

78 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

79 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

80 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

81 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

82 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

83 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

84 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

85 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

86 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

87 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

88 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

89 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

90 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

91 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

92 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

93 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

94 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

95 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

96 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

97 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

98 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

99 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

100 友達に話しかけよう。おもしろいゲームやアプリを友達に紹介しよう。

- ・カード教材を使って、グループやクラスで「使いすぎ」だと思う行動を共有・比較することで、自らの行動に当てはめて、子供が自ら「使いすぎているかもしれない」と気付くように促す。
- ・発達の段階によっては、並べるのではなく、2枚のみ選んで話し合いを行わせる。

- ・使いすぎないための家庭でのルールづくりや、「守れないときにはどうしたらよいか」を考えた上で、家庭で保護者と一緒に試し、感想を書いてもらう。

自分と相手とのちがい

学活

総合

道徳

ねらい

- ・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・文字だけで伝えると、感情が伝わりにくいので、誤解されやすいことに気付く。

- ・ふきだしでは、たかしさんの怒った顔（3コマ目）、花子さんの不思議そうな顔（4コマ目）に注目しながら、理由を考えさせる。

- ・自分の「いやな言葉」が相手の「いやな言葉」と同じではないことに気付くように促し、グループやクラスで「あまりうれしくない言葉」を共有する。

自分と相手とのちがい

教室での様子です。

① ふきだしに入る言葉を入れ、感じたことを話し合います。

まじめだね。

ほめたつもりなのに

掃除をするのは当たり前だろ

自分と相手とのちがい

① あなたが、クラスの友達から言われて「あまりうれしくない。」と感じる言葉を一つ選んでみましょう。

まじめだね ② たとえしいね ③ いつしょうけんめいだね ④ おもしろいね ⑤ 目がいいね

② 友達を選んだカードと見くらべて、どんなことに気がきましたか。

ネットのとくせい

文字だけで伝えると、そのときの「感情」が伝わらないので、相手をききずけてしまうこともあります。

「おもしろいね」

「おもしろいね」

① 学んだこと

② 友達から

③ 学校から

- ・「おもしろいね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについて、実演することで、私たちはいろいろな情報を基に相手の気持ちを感じとっていることに気付くようにする。

これって悪口

学活

総合

道徳

ねらい

- ・相手の顔が見えないと、同じスタンプ（イラスト・絵文字）でも、人によって感じ方が違うことに気付く。

- ・「おもしろいね」の文字だけで伝えた場合、感情が伝わりにくいことに気付くようにする。

- ・カードをA、Bに置いて、共有させる。
- ・それぞれのカードをA又はBに置いた理由を話し合わせる。
- ・同じスタンプ（イラスト・絵文字）でも、人によって感じ方が違うことに気付かせ、自分が「すごくおもしろかった気持ち」を伝えようとして送ったスタンプが、相手に「いじわるな気持ち」として伝わってしまった場合、どのようなことが起きるかを考えさせる。

これって悪口

① たかしさんは②③のどちらの気持ちでメッセージを送ったでしょう。

② すごくよかった気持ち ③ いじわるな気持ち

④ おもしろかった気持ち ⑤ いじわるな気持ち

② 友達から送ったメッセージがどきどきしました。どのような気持ちで送ったと思いますか。それぞれ④⑤に付けて、下のスペースにおきましょう。

④ おもしろかった気持ち ⑤ いじわるな気持ち

② どんなことに気がきましたか。

相手の顔が見えないと

同じスタンプや絵文字でも、人によって感じ方が違うこともあります。また、相手の顔が見えないと、ついつい、ふだんは言わないような言葉を使ってしまうことがあります。

「おもしろいね」

「おもしろいね」

① 学んだこと

② 友達から

③ 学校から

- ・P10での話し合いを振り返らせた上で、もし、相手にスタンプを送るときや相手からスタンプが送られてきたとき、どのようなことに気を付ければよいかを考えさせる。

情報を上手に検索しよう

学活

総合

ねらい

- ・ 情報を検索する際に基本となるAND検索（アンド検索）の方法を身に付ける。
- ・ 検索した情報の信頼性について考える。

- ・ 例示された以外のキーワードは、7～9の枠に書かせる。

- ・ 実際に検索させ、どのような結果になるかを調べさせる。
- ・ 特に、AND検索の結果が絞り込まれていることに着目させる。
- ・ 例示された以外のキーワードで試してみてもよい。

☑ 調べ、情報を上手に検索しよう

1 「昔のくらし」を調べてみることにしました。どのようなキーワードで調べるとよいでしょうか。

1 昔	2 人気	3 あそび
4 新聞	5 くらし	6 遊具
7	8	9

2 実際に調べてみましょう。どんな結果になるでしょうか。

キーワードが3つあるとき	結果
1 昔	
1 昔 2 あそび	
1 昔 2 あそび 3 人気	

! 検索のポイント

「昔 あそび」のように、スペースを空けて調べると、知りたいにせよ絞りこむことができます。例えば、「昔」だけで調べると、あそび以外の昔のことがたくさん出てきますが、「昔 あそび」と調べると、昔のあそびが出てきます。さらに、「昔 あそび 人気」と調べると、昔のあそびの中でも人気があったあそびを調べることができます。

検索した情報は、全部本当でしょうか。

インターネットで検索した情報は、すべてが正しい情報とは限りません。間違った情報やうそ情報もあるので、本や新聞など複数の情報と比べてみる必要があります。

考えよう「情報モラル」

アザンダこと

家庭から

学校から

- ・ 情報モラルの視点として、検索結果の全てが正しい情報と限らないこと、複数のメディアを参照する必要があることに気付かせる。

悪口を書かれたら／写真を送ってと言われたら

学活

総合

- ・ なぜその番号を選んだのかを全体で共有させる(話し合いを行う。)
- ・ こうした経験があるかどうか、子供たちに経験を共有させる。
- ・ 悪口を言われた場合でも、言い返すと悪口が継続してしまうことや、ゲームでは、夢中になり、こうした悪口を言いやすくなることを伝える。
- ・ 「死ぬ」「殺す」など、脅された場合は、すぐに家族に相談するように伝える。

☑ 悪口を書かれたら

たかしさんは、よくはなれた友達4人で、できとるゲームをしていました。

あるとき、たかしさんが実家のために、二輪にゲームをしていた友達から、メッセージで悪口を書かれてしまいました。

このとき、あなたはどうしますか。

① すぐに自分も言い返す	② 返信をせずにゲームを続ける
③ 家族に相談する	④ その他

☑ 写真を送ってと言われたら

あかねさんは、ゲームで知り合った「しおり」さんと、親にないしょでメッセージのやりとりをしています。

あるとき、「しおり」さんから、「あかねさんといっしょに遊ぼうね」といって、わたしの写真を送るよ、というメッセージといっしょに、「しおり」さんの写真が送られてきました。「しおり」さんは、友達とあかねさんの写真を見せたい。その後、「しおり」さんから、「あかねさんの顔も見たいね。写真を送って。」と言われました。

このとき、あなたはどうしますか。

① 写真を送る	② 写真を送らない	③ 大人に相談する
---------	-----------	-----------

- ・ ストーリーのように、「写真を送って」と言われたとき、どのような迷いが生じるか考えさせる(「嫌われたくない」という気持ちから送ってしまう人がいることに留意させる。)
- ・ 自分の写真を送ってしまった場合、どんな危険性があるかについて考えさせる。

ゲームって楽しいけれど

学活

総合

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有させる（話し合いを行う。）。
- ・ゲームにお金を使った（課金）経験について話し合わせる。
- ・お金を使うこと（課金）による影響やトラブルについて考えさせる。

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有させる（話し合いを行う。）。
- ・ゲームに時間を使いすぎた経験について振り返らせ、話し合わせる。
- ・たくさんの時間を使うことによる影響やトラブルについて考えさせる。

ゲームって楽しいけれど

東京都教育委員会 「考えよう！ いじめ・SNS@Tokyo」より転載

なつみさんは、家でスマホのゲームをしています。

なつみさんはスマホでゲームをすることが大好きです。このゲームでは毎日新しいイベントが続き、新しいキャラクターが登場しています。なつみさんは新しいキャラクターを集めるために、お金をはらうことを決めました。

① あなたがなつみさんなら、どうしますか。

- ① お金をはらう
- ② お金をはらわない
- ③ お金をはらってよいか 家族に相談する

② なぜそれを選んだのか、理由を書きましょう。

ふゆきさんも、家でスマホのゲームをしています。

ふゆきさんはスマホでゲームをすることが大好きです。このゲームではステージをクリアするための特別なアイテムが登場しています。しかし、特別なアイテムは高価なので、ふゆきさんは買わずに時間をかけてゲームをクリアすることにしました。

① あなたがふゆきさんなら、どうしますか。

- ① 時間をかけて 次のステージを自由す
- ② アイテムを買って 時間をかけて 次のステージを自由す
- ③ アイテムを買ってよいか 家族に相談する

② なぜそれを選んだのか、理由を書きましょう。

ゲームソフトのかしかり

学活

総合

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有させる（話し合いを行う。）。
- ・貸し借りに関するトラブルの経験について話し合わせる。
- ・自分で解決ができない場合があることについて考えさせ、その場合は大人に相談することが重要であることに気付くようにする。

ゲームソフトのかしかり

ある日、たかしさんは、すぐるさんにゲームソフトを貸してあげました。数日後、たかしさんはゲームソフトを返してほしいと言いましたが、すぐるさんから「もう少ししてほしい」と言われてしまいました。何回かお願いしても、返してくれる様子はなく、たかしさんはこまごましまいました。

たかしさんは、このあとどうしたらよいでしょうか。

- ① すぐるさんに「返してほしい」と何度も言う
- ② 別の友達に相談する
- ③ 家族に相談する
- ④ 先生に相談する
- ⑤ もう少し待つ

保護者のみなさまへ



P9を参照してください。

ケータイ・スマホトラブル分類表

親性のネットに関するトラブルは、大きく以下のように分類することができます。

1 長時間利用	2 高額課金	3 不適切サイトの閲覧	4 出会い
5 著作権の侵害	6 不適切情報の発信	7 個人情報の投稿	8 悪口・いじり

① 子供と一緒に、起きやすいと思われるトラブルにチェックを付けながら話し合ってください。
② アプリやウェブサイトの利用の注意を覚えておきましょう。

③ 家庭のルールを考えよう……………P20～21へ
④ フィルタリングやアプリの設定……………P22～23へ
⑤ インターネットにおけるコミュニケーションの特性……………P24へ

3 小学校高学年 モデル指導案

モデル指導案：自分と相手とのちがい

授業のねらい

- ・ 同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・ 文字だけで伝えると、感情が伝わらないので、誤解されやすいことに気付く。

授業の流れ (45分)

時間	学習活動	準備物等
20分	1. カードで学ぼう① ・ 3～5名のグループとなり、カード教材を準備する。 あなたが、クラスの友達から言われて「いやだな」と感じる言葉を一つ選んでみましょう。 ・ カードの中から1枚を選ばせ、グループの全員が見えるように提示させる。 いやだなと感じた理由を書きましょう。 ・ グループで理由を説明し合わせる。 ほかの人に意見を聞いて、どんなことに気が付きましたか。 ・ クラスで共有させ、気が付いたことを発表させる。 ・ ネットの特性を読み上げ、「まじめだね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについて書いた考えを説明させる。	○カード教材
20分	2. カードで学ぼう② ・ カードを裏返すように指示する。 あなたが、クラスの友達からされて「いやだな」と感じることを、上から並べてみましょう。 ・ 5枚のカードを、「いやだな」と感じる順に並べさせ、グループの全員が見えるように提示させる。 一番いやだと感じるカードを選んだ理由、一番いやではないと感じるカードを選んだ理由を書きましょう。 ・ グループで理由を説明し合わせる。 ・ クラスで共有させ、理由を発表させる。	○カード教材
5分	3. まとめ ・ 今日の授業で学んだことを記入させる。 ・ ノートを家庭に持ち帰らせ、今日の授業で学んだことを保護者に伝え、「家庭から」の欄に記入してもらうよう伝える。 ・ 家庭でカード教材と一緒に体験してみるように伝える。	○カードをしまう封筒等

使いすぎていないかな

学活

総合

ねらい

- ・時間や行動に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」について考える。
- ・使いすぎないための家庭のルールを考える。

- ・グループやクラスで「使いすぎ」だと思う時間や「使いすぎ」だと思う行動を共有させ、比較することで、自分の生活を見直し、子供が自ら「使いすぎているかもしれない」と気付くように促す。

- ・「使いすぎ」だと思う時間や行動が違う場合、相手に迷惑を掛ける可能性があることについて考えさせる。
- ・これらの行為を「相手にされた場合」、「自分がしてしまった場合」のそれぞれについて考えさせる。

- ・使いすぎないための家庭でのルールづくりや、それを1週間試した上で、「守れるルール」や「守れないときにはどうしたらよいか」を考えさせる。

写真を公開する前に

学活

総合

ねらい

- ・人によって「公開してもよいと思う写真」は違う場合があり、自分は「公開してもよい写真」だと思っていても、ほかの人は「公開してほしくない」と感じる場合があることに気付く。
- ・一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいなど、写真の公開におけるネットの特性に気付く。

- ・自分が「公開してもよいと思う写真」でも、公開することによって誰かを傷つけたり、トラブルに巻き込まれたりしてしまう可能性について考えさせる。
- ・それぞれの写真のどこに問題があると考えたかを共有させ、発表させる。

- ・「ネットの特性」を読み、一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいことについて理解を促す。その上で、自分が発信する際に気を付けることを考えさせる。

- ・公開する前に、「どんな人が見るだろうか」を意識するように指導する。

メディアの特性を考えよう

学活

総合

道徳

ねらい

- ・ SNSやテレビなど様々なメディアの特性を踏まえて、情報を収集することができる。
- ・ 情報の「速さ」と「正確さ」の関係に気付くことができる。

- ・ 自分の経験だけでなく、家族の経験などを踏まえて、情報収集の方法を考えさせる。

- ・ 今の状況を知りたいときにはテレビやSNSが有効であり、特に自分の身近な地域の情報を知りたいときにはSNSが有効であることを伝える。
- ・ 過去の情報を知りたいときには、本が有効であることを伝える。
- ・ テレビやSNSには情報の速さがあり、本には情報の速さはないが、比較的正確さがあることを伝える。

1. メディアの特性を考えよう

① あなたの地区を台風の通過しました。

あなたの地区では台風の被害はなかったのですが、近くの町で被害がなかったか心配になりました。あなたはそのように情報を収集しますか。

② 次のカードを、

- ・ 今、どこに台風がいるかを知りたいとき
- ・ 自分の住んでいる場所の近くの状況を知りたいとき
- ・ 被害の大きさを知りたいとき
- ・ 過去の台風の情報を知りたいときに使ってみよう。

③ どのようなことが分かりましたか。

同じところ

ちがうところ

2. メディアの特性

本やテレビ、SNSなど、情報を伝達するものを「メディア」と呼びます。これらのメディアには、それぞれ特性があります。例えば、テレビは映像を通して情報を伝達し、本は文字、SNSは主に文字や画像を通して情報を伝達します。テレビはテレビ画面の人が観覧しないと映像を送ることはできませんが、SNSは一般の人でも文字や画像を送ることができます。このため、情報の「速さ」では、SNSの方がテレビや本などよりも速い場合も多くなります。

情報を収集するときは、こうしたメディアの特性を考慮する必要があります。

情報の「速さ」と「正確さ」の関係

SNSは、テレビや本よりも情報を早く知ることができる場合がありますが、「正確さ」ではどうでしょうか。SNSは不特定多数の人が情報を発信しているため、かならずしも正確であるとは限りません。情報の「速さ」だけでなく、「正確さ」も情報収集では大切なポイントです。

考えよう「情報を学ぶ」

① 学んだこと

② 家庭から

③ 学校から

- ・ SNSの場合には、身近な情報が速く手に入る一方で、情報の正確さや信頼性には十分注意する必要があることを考えさせる。

情報を上手に整理しよう

学活

総合

ねらい

- ・ 情報をまとめる際に、階層構造を意識してまとめることができる。
- ・ 情報をまとめた人の意図を考えることができる。

- ・ ネットの情報は、日本人向けだけでなく、全世界に向けて発信されていることを意識させる。

- ・ 「どちらが広い範囲のことを指すか」という視点で考えさせる。
- ・ 個人で考えた後、グループ、クラスで共有させる。

1. 情報を上手に整理しよう

① ネットで「外国人向けの日本の情報」について検索したところ、次のような情報が集まりました。

- ① 日本の美味しい食べ物
- ② 日本の観光地ランキング
- ③ 北海道で雪遊び
- ④ 冬の服装
- ⑤ 入力票
- ⑥ 東京の美味しい寿司
- ⑦ 夏の服装
- ⑧ 京都のお寺
- ⑨ 和食の食べ方
- ⑩ 新幹線に乗ってみよう

② どのように分類できるか考えよう。

分類	情報源のサイト名
食べ物	①、⑤、⑥
観光地	②、③、④
服装	④、⑦、⑧
交通	⑩
その他	⑤、⑥、⑦、⑧、⑨

2. 情報を上手にまとめるポイント

情報を上手にまとめるためには、「どちらがより広い範囲のことを指すか」と考えなければなりません。例えば、「食べ物」は、「和食」「洋食」「中華」など、さらに細かく分類することができます。これはもちろん「食べ物」です。「食べ物」には「和食」や「洋食」以外の肉や魚なども含まれるからです。その次に「和食」は「日本料理」です。このような関係は、右の図で表現することができます。

考えよう「情報モデル」

あなたが集めている情報は、誰かがまとめたものです。例えば、外国人向けの日本の情報は、日本人向けに集められています。情報を集めるときには、どんな人がその情報をまとめたのかを考えることが重要です。

その情報は誰がまとめたのかな？

あなたが集めている情報は、誰かがまとめたものです。例えば、外国人向けの日本の情報は、日本人向けに集められています。情報を集めるときには、どんな人がその情報をまとめたのかを考えることが重要です。

考えよう「情報モデル」

あなたが集めている情報は、誰かがまとめたものです。例えば、外国人向けの日本の情報は、日本人向けに集められています。情報を集めるときには、どんな人がその情報をまとめたのかを考えることが重要です。

① 学んだこと

② 家庭から

③ 学校から

- ・ 情報は、「誰かが意図をもってまとめたもの」であることを意識させる。

匿名でつぶやいていたら

- ・意見を全体で共有させる（話し合いを行う。）。
 - ・相手に面と向かって伝えるわけではないというネットの特性や、匿名だから分からないだろうという思いから、過激なことを書いてしまうことがあることについて考えさせる。

- ・意見を全体で共有させる（話し合いを行う。）。
 - ・SNSでは、たとえ匿名で書き込んでいても、情報の蓄積やつながりから、個人が特定されてしまうこともあることについて気付くようにする。

- ・意見を全体で共有させる（話し合いを行う。）。
 - ・直接あきらさんに声をかける他にも、保護者や教員に相談することの重要性についても気付くようにする。

- ・意見を全体で共有させる（話し合いを行う。）。
 - ・保護者や教員に相談することや、直接本人に謝罪することだけでなく、SNSに謝罪を書き込むことのリスクについても気付くようにする。

匿名でつぶやいていたら

あきらは学校のみんなには別でSNSを使っています。「いいね」という人々に公開されるのがうれしくて、友達のことを面白おかしく書きこんでいました。「たかあがまた、最近の授業が面白くて笑ったわ。」「その日に学校であったことを書きこんで、やばいって書く「いいね」をもらい、その後も何回か書きこんでいました。」

① ね、あきらは、クラスメイトのことを書きこんでいるんじゃないかな、って思いました。あきらは、どうしてこんなことをしたのでしょうか。

――学校で――
学校に行くときみんなの目があつたことに気が付きました。どうも自分のことをうらやまされてるようです。

② あきらはもしかしたら自分の書きこんでいる内容がみんなに見られてるかもしれないと気づきました。でも、あきらは自分の書きこんでいる内容がみんなに見られてしまったのでしょうか。いくつか可能性を考えてみましょう。

――その日、家に――
学校での書きこんでいたあきらは、家で自分の書きこんでいた「いいね」を付けた人のプロフィールを確認します。いろいろな人のプロフィールを確認したところ、やはりあきらの書きこんでいた内容がみんなに見られていたようです。これまでに自分の書きこんでいた内容をあきらは、自分のしたことと認識していました。

③ 他人の個人情報だとしても書きこんでいる内容がみんなに見られて、あなたならどうしますか。

――その日、学校で――
学校ではこのように書きこんで、あきらはみんなから仲間外れにされてしまっていました。あきらは自分たちが仲間外れにされてしまった。あきらは自分たちが仲間外れにされてしまった。あきらは自分たちが仲間外れにされてしまった。

④ あなたがクラスメイトなら、仲間外れにされているあきらさんにどうしてあげようと思いますか。

SNSからわかることは／マンガをSNSにアップすると

- ・たった1枚の写真やメッセージでも、コンビニの場所（隣にある家の場所）、塾の帰りの時間などの情報を多くの人を知ることができることに気付くようにする。一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいなど写真の公開におけるネットの特性について考えるようにする。

- ・マンガの一部をネット上に勝手にアップロードすることは、著作権の侵害に当たり、いわゆる違法アップロードとなる。違法アップロードは、「10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、またはその両方」の罰則が科せられる可能性があることを説明する（音楽や映画なども同様）。さらに、こうした違法にアップロードされた音楽、映像をその事実を知らずにダウンロードすることも著作権の侵害に当たることについて考えるようにする。

学活

総合

SNSからわかることは

最近、あきらの家の近くにコンビニがあったので、家の前に行ってみようと思った。家の前に行くと「コンビニ」の看板が見えた。この看板には、コンビニの場所が載っている。この看板を見れば、あきらの家の場所がわかる。あきらは、この看板を見れば、自分の家の場所がわかる。あきらは、この看板を見れば、自分の家の場所がわかる。

① このメッセージや写真から、分かることは何でしょうか。

② このようなことを見たら、あなたはどのようにアドバイスしますか。

マンガをSNSにアップすると

ゆうたさんは、毎週発行されるマンガ雑誌を面白みにして、いつも購入しています。今週発行されたマンガ雑誌には、お気に入りのマンガが載っていて、うれしくて、友達に紹介することになりました。「お友達、すっごくおもしろかった。」「このメッセージをマンガと一緒にSNSにアップしたところ、友達からたくさんコメントがきました。」

① このメッセージと写真には、どのような問題があるでしょうか。

保護者のみなさまへ



P9を参照してください。

ケータイ・スマホトラブル分類表

親のネットに関するトラブルは、大きく以下のように分類することができます。

1 長時間利用	2 高額請求	3 不適切サイトの閲覧	4 出会い
ゲームや動画、SNS利用などで長時間利用すると、料金が高額請求される場合があります。	不適切なサイトや画像を閲覧すると、高額請求される場合があります。	SNSで知り合った人と会ったときに、危険な状況に巻き込まれる場合があります。	SNSで知り合った人と会ったときに、危険な状況に巻き込まれる場合があります。
① 長時間利用	② 高額請求	③ 不適切サイトの閲覧	④ 出会い
5 著作権の侵害	6 個人情報の漏洩	7 不適切情報の発信	8 悪口・いじり
著作権の侵害とは、他人の著作物（マンガ、音楽、映画など）を勝手に複製、転載、アップロードすることです。	個人情報の漏洩とは、自分の個人情報（名前、住所、電話番号など）を勝手に公開することです。	不適切な情報（暴力、性行為、差別など）をSNSに発信すると、トラブルの原因になります。	SNSで知り合った人と会ったときに、危険な状況に巻き込まれる場合があります。
⑤ 著作権の侵害	⑥ 個人情報の漏洩	⑦ 不適切情報の発信	⑧ 悪口・いじり

⑨ 子供と一緒に、起きやすいと思うトラブルにチェックを付けて話し合ってみましょう。

⑩ アプリやウェブサイトの利用規約を確認しましょう。

⑪ 家庭のルールを考えよう。――P20～21へ

⑫ フィルタリングやアプリの設定。――P22～23へ

⑬ インターネットにおけるコミュニケーションのルール。――P24へ

4 中学校 モデル指導案

モデル指導案：写真を公開する前に

授業のねらい

- ・ 写真を公開した場合のリスク（トラブルにつながる可能性）を考えることができる。
- ・ 一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいなど、写真の公開におけるネットの特性に気付く。

授業の流れ (50分)

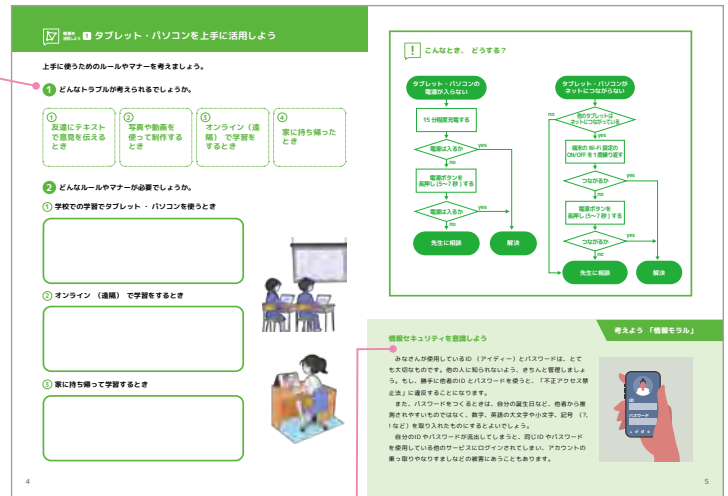
時間	学習活動	準備物等
15分	1. 写真のリスクを考えよう① これらの写真を公開した場合のリスクを考えてみましょう。 ・ 5つのシーンで公開した場合のリスクについて考えさせる。 シーンA：仲のよい友達だけに送った場合 シーンB：仲のよい友達数人のグループLINEに送った場合 シーンC：特定の人だけしか見ることができないSNSに本名で公開した場合 シーンD：特定の人だけしか見ることができないSNSに匿名で公開した場合 シーンE：世界中の人が見ることができるSNSに匿名で公開した場合	○カード教材
20分	2. 写真やコメントなどのリスクを考えよう② これらの写真やコメントを公開した場合のリスクを考えてみましょう。 ・ 特定の人だけしか見ることができないSNSに公開した場合のリスクを考えさせる。 ・ グループ、クラスで共有させる。 アカウントが同一人物だと特定された場合のリスクを考えてみましょう。 ・ ①～③のアカウントと④⑤のアカウントが同一人物であることが分かってしまった場合のリスクを考えさせる。（②のキーホルダーと④⑤のアカウントのアイコンが同じである） ・ グループ、クラスで共有させる。	○カード教材
10分	3. 写真の公開範囲を考えよう これらのリスクを踏まえて、公開する範囲を考えてみましょう。 ・ どのSNSに公開してもよいか、公開しないほうがよいかを考えさせる。 ・ グループ、クラスで共有させる。	
5分	4. まとめ ・ 写真を公開する際に、どのようなことに気を付ければよいかを考えさせる。	

ねらい

- ・タブレットを活用する際に想定される様々なトラブルについて想像し、気づくことができる。
- ・タブレットを上手に活用するためのルールを考え、それらを守ろうとすることができる。

次のようなことに気をつけさせる。

- ・ テキストメッセージで悪口を書く
- ・ 勝手に人の写真を撮る
- ・ 著作権を侵害するような写真や動画を使う
- ・ オンライン学習中に勝手に友達の写真を保存する
- ・ オンライン学習中に指示と違うことを行っている
- ・ 目を近づけて、長時間使用する
- ・ 遅い時間まで使用する。



- ・パスワードの管理は今後も必要になってくることであり、できるだけ推測しにくいものをつくり、他人に伝えないようにすることの重要性を伝える。また、タブレットを使用する姿勢や長時間使用による眼精疲労に注意させる。

自分と相手との違い

ねらい

- ・ 同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・ 文字だけで伝えると、感情が伝わらない場合があり、誤解されやすいことに気付く。



P16のモデル
指導案(小学校高
学年向け)も参考
にしてください。

- ・自分の「いやな言葉」が相手の「いやな言葉」と同じではないことに気付くようにするため、グループやクラスで「いやな言葉」を共有させる。

- ・自分が「いやではない」と思っていたことが、相手にとっては「いやなこと」であるなど、理由とともに違いを認識するようにさせる。



- ・「いやなことをしないようにしよう」という指導だけでは、「自分のいやなことを相手にしなければ大丈夫」（自分の「いやではないこと」ならしてもOK）となってしまう、コミュニケーショントラブルの要因になってしまうことに気付くようにする。

ねらい

- ・写真を公開した場合のリスク（トラブルにつながる可能性）を考えることができる。
- ・一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいなど、写真の公開におけるネットの特性に気付く。



P21のモデル
指導案を参考に
してください。

- ・写真だけを公開した場合のリスクを考えさせる。

- ・写真にコメントが加わった場合のリスクを考えさせる。
- ・さらに、①～③のアカウントと④⑤のアカウントが同一人物であることが分かってしまった場合のリスクを考えさせる。（②のキーホルダーと④⑤のアカウントのアイコンが同じ）



- ・1枚の写真だけでリスクを判断するのではなく、複数の情報があわさった場合のリスクを考えさせるようにする。

ねらい

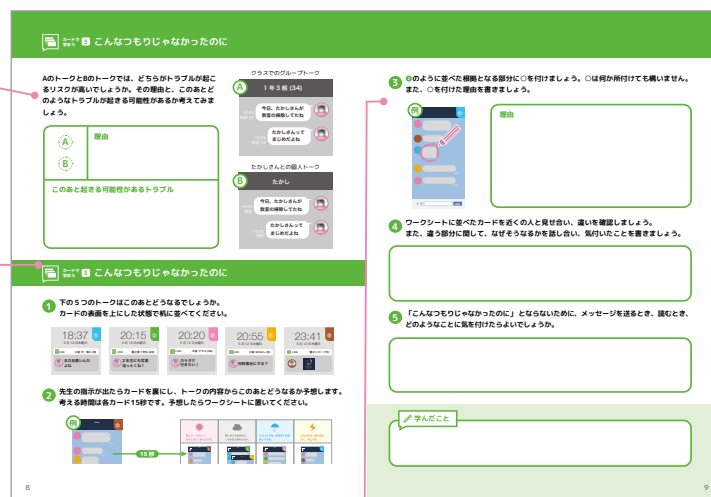
- ・コミュニケーションにおける危険（リスク）を予想することの重要性に気づき、自分と他者との危険（リスク）の予想の「違い」に気付く。
 - ・ネットの特性を踏まえ、危険（リスク）を回避しながら、自分の考えや気持ちを上手に相手に伝える方法について考える。
- してください。



P24の教材利
用方法を参考
してください。

- ・ 同じトーク内容でも、1対1の場合と、1対34（クラスでのやり取り）の場合では、人数が多いほど、多様な捉え方をする人が増えるので、自分の意図とは違う捉え方をされる可能性が高まることに気付くようにする（グループメッセージでは「まじめ」という言葉が異なる意味で伝わるリスクが高くなっている。）。

- ・ カードの裏面を見ないように机に並べ、グループ名（グループの人数）、グループトークでの最後のメッセージを読む。その上で、1枚ずつカードをめくり、15秒で「この先、グループの会話がどうなるか」を予想させる。



- ・判断の根拠を共有することで、危険（リスク）を予想する際の判断の視点に気付くようにする。例えば、グループのサイズ（人数）、画面キャプチャ（画面全体を静止画で保存すること）での写真転送、送信時間、メッセージの内容など、判断の視点を説明する。

こんなつもりじゃなかったのに 教材利用方法

表面



・ グループ名(グループの人数)

・ グループトークでの最後のメッセージ

・ 表面のまま机に並べる。

・ 予想の根拠に○を付ける。

裏面



「こんなつもりじゃなかったのに」状況シート

 楽しい。うれしい。 おもしろい。ほっとする。	 特になにも起きない。 このままと変わらない。	 いらっとする。気まずくなる。 悲しくなる。	 けんかする。怒り出す。 泣く。炎上する。
リスクは まったく ない	リスクは ほとんど ない	少し リスクが ある	大きな リスクが ある

- ・ 裏面にしたら、15秒でこの先どうなるかを判断し、状況シート上に置く。

情報の真偽を確かめよう

学活

総合

道徳

ねらい

- ・ 情報の真偽を確かめるためには、情報の発信元を確認する必要があることに気付く。
- ・ フェイクニュースを拡散させることの危険性とそれを防ぐための工夫を考えることができる。

- ・ 自分の経験だけでなく、家族の経験などを踏まえて、情報収集の方法を考えさせる。

- ・ 「信頼できる順」では、気象庁や市役所のSNSの情報が上位にくることをおさえる。さらに、個人のSNSが信頼できる情報かどうかを考えさせる。
- ・ 「速さ順」では、現地の個人や専門家などの個人のSNSが上位にくることをおさえる。
- ・ 「手に入れやすさ順」では、あらかじめフォローしておいたSNSほど入手しやすいことをおさえる。

情報の真偽を確かめよう

- あなたの地区を台紙で確認しよう。
あなたの地区ではどんな情報が流れているか、近頃の噂や噂話などから確認しよう。
- 次のカードを、「信頼できる順」「情報の速さ順」「手に入れやすさ順」に並べてみましょう。

1
気象庁の SNS

2
区市町村の役所の SNS

3
専門家の SNS

4
地域の個人の SNS

5
地域の個人の SNS(著名)

- どのようなことが分かりましたか。

1 真偽を確かめるポイント

インターネット上の情報はすべて正しい情報とは限りません。そこで、真偽の情報を確かめるポイントを確認しましょう。

① 発信元を確認しよう
発信元を確認しよう。発信元を確認しよう。発信元を確認しよう。

② 情報の発信日時を確認しよう
情報の発信日時を確認しよう。情報の発信日時を確認しよう。

③ フェイクニュースを発信するとうるな？
事実と異なる情報を流した。発信した人は「フェイクニュース」を発信した。最近では、SNS上でのフェイクニュースの増加が懸念されている。多くの人に知ってほしいと思っている情報は、実はフェイクニュースであったというケースがあります。こうしたフェイクニュースの増加を防ぐためには、発信元を確認することが重要です。

また、フェイクニュースを発信した人、拡散した人、そして「情報発信者」「情報受信者」「情報拡散者」等の役割に関与する可能性があります。

- ・ たとえ善意であってもフェイクニュースを拡散しないようすることの重要性とそのための方法を考えさせる。

情報を比較・分析してみよう

学活

総合

ねらい

- ・情報を比較・分析する際に必要な出典の示し方を身に付けることができる。
- ・自分の意見と引用を分けることの重要性や、その方法について考えることができる。

- ・例示された「成人年齢の引き下げ」以外のテーマで実施する場合には、②③に記入させる。
- ・賛成意見、反対意見ともに、見付けたページの①著者名、②タイトル、③WEBページのURL（または検索に用いたワード）を記入させる。
- ・調べた結果は、グループごとに共有させる。

- ・上記のサイトの意見を「引用」しながら自分の意見を書くようにする。

④ 情報比較・分析してみよう

① 「本題」から一つ選び、そのお題についてWEBで検索して、賛成意見と反対意見をまとめよう。

② 成人年齢の引き下げについて、賛成意見と反対意見を整理して、自分の意見をまとめよう。

③ 賛成意見、反対意見を調べた上で、あなたの意見を書いてください。

④ 情報比較・分析するためのポイント

⑤ ネットの情報を簡単に引用してもよい？

⑥ 考えよう「情報を知ろう」

⑦ 自分が書いた文章について、自分の意見と引用が明確に区別されているかを確認する。

「見えないお金」と上手につきあおう

技術・家庭

社会

総合

ねらい

- ・キャッシュレス決済のメリット・デメリットを様々な立場から多面的に考えることができる。
- ・消費者として、キャッシュレス決済を使う場合に気をつけなければならないことを考えることができる。



P27のモデル指導案（高校向け）を参考にしてください。

- ・子どもたちが日常的に使っている決済方法、例えば、交通系（SuicaやPASMOなど）やPayPay、LINE Payといったものを挙げさせる。

- ・現金を落としても返ってくる「治安のよさ」、偽札かどうかを気にしなくてもよい「日本円の信用の高さ」、よく知らないから「使うのが不安」などが挙げられる。なお、1位の韓国は、クレジットカードの利用率が非常に高い。

④ 情報比較・分析してみよう

① 「キャッシュレス決済」（現金を使わない決済）には何があるでしょうか。

② 下のグラフから分かる通り、日本ではキャッシュレス決済が広がっていません。理由を考えてみましょう。

③ キャッシュレス決済のメリット・デメリットを「お店・事業者」と「消費者」の観点から考えてみましょう。

④ 「消費者」として、キャッシュレス決済を使う場合に気をつけなければならないことを考えてみましょう。

⑤ キャッシュレス決済のメリット・デメリットを「お店・事業者」と「消費者」の観点から考えてみましょう。

⑥ 「消費者」として、キャッシュレス決済を使う場合に気をつけなければならないことを考えてみましょう。

⑦ 「⑥ポイントがもらえる」というカードは、消費者だけのメリットかどうかを考えさせる。ポイントは、消費者だけのメリットではなく、ポイントを配ることで、次からもそのサービスや決済方法を使おうとする消費者を増やすことができるなど、お店や事業者のメリットでもあることに気づかせる。

- ・ ネットやゲームを「使いすぎ」してしまう経験を共有させる。
- ・ 一週間の時間の使い方について記録させ、友達や家族と共有させる。
- ・ 一週間のネットやゲームに費やした時間を計算させ、もしその時間を他のことに使うとしたら、何に使えるかを考えさせる。

- ・ ネットやゲームを「使いすぎ」てしまう経験を共有させる。
- ・ チェックリストを実施し、自分が使いすぎてないかどうかを判断させる。ただし、チェックが多い生徒が一概に「ネット依存」とは言えないことに留意する。（あくまで参考として扱う）

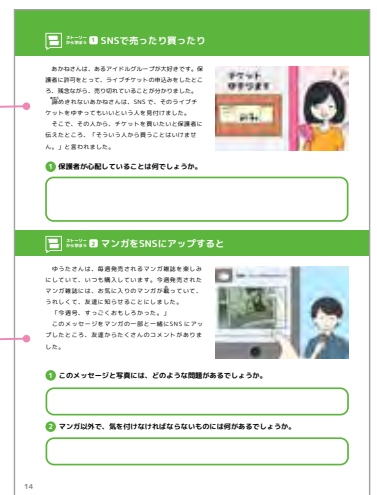


- ・一週間の記録を見直し、どうすれば改善できるかを考えさせ、もう一週間、記録を継続できるとよい。

総合

- ・顔が見えないSNSのやり取りでは、自分が想像している人とは違う場合があることに気付き、相手への振込（送金）や自分の名前や住所（個人情報）を伝える際の危険性について考えさせる。

- ・マンガの全部または一部をネット上に勝手にアップロードすることは、著作権の侵害に当たり、いわゆる違法アップロードとなる。違法アップロードは、「10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、またはその両方」の罰則が科せられる可能性があることを説明する（音楽や映画なども同様）。さらに、こうした違法にアップロードされたマンガや音楽、映画などをダウンロードすることも著作権の侵害に当たることを考えさせる。



モデル指導案：「見えないお金」と上手につきあおう

授業のねらい

- ・キャッシュレス決済のメリット・デメリットを様々な立場から多面的に考えることができる。
- ・キャッシュレス決済を使うことができない人に配慮する社会のあり方について考えることができる。

授業の流れ (50分)

時間	学習活動	準備物等
10分	1. 身近にあるキャッシュレス決済について想起し、学習の見通しをもつ ・身近なキャッシュレス決済について キャッシュレス決済には何があるでしょうか。 あなたは何種類使っていますか。 ・交通系（SuicaやPASMOなど）やPayPay、LINE Payなど	
30分	2. お店の視点・消費者の視点で考えよう ・世界と日本のキャッシュレス決済 下のグラフから分かるとおり、日本ではキャッシュレス決済が広がっていません。その理由について、根拠となるデータや資料を示しながら、説明してみましょう。 ・民間団体による日本人対象の意識調査を基に、「バッテリーが切れると使えない」などキャッシュレスに対する不安について意見を述べる ・小売店の利益率が記載された白書と、キャッシュレス運営業者に小売店が支払う決済手数料の資料を比較して提示し、経済的に導入が難しい状況について意見を述べる。 ・海外旅行の旅行記などから、現金が信用されていない他国の状況を提示し、日本における現金の信用度の高さについて意見を述べる。 キャッシュレス決済のメリット・デメリットを「お店・事業者」と「消費者」の視点から考えてみましょう。 ・キャンペーンや外国人観光客の利用で売り上げがあがる、支払いが楽になる、ポイントがもらえる、など12項目	・グラフを大きく映し出す。 ・書籍やインターネット等により、根拠となるデータ等を検索するよう指示する。 ・根拠となるデータや資料を事前に調べておくようオンライン等で提示し、本時において調べてきた内容を発表するなど、時間が長くなり過ぎないように留意する。 ・項目を大きく映し出す。
10分	3. キャッシュレス化する社会とどうつきあうか キャッシュレス決済を使えない人がいる状況を、どのように解決すればよいでしょうか。様々な立場に立って考えてみましょう。 ・デジタルデバイドにより、キャッシュレスの恩恵を受けることができない人たちを、国などの公的機関、キャッシュレス事業者、小売店など様々な立場で助け合う仕組みを考える。	
5分	4. まとめ ・キャッシュレス決済は、お店・事業者側にも消費者側にも様々なメリット、デメリットがある。 ・今後キャッシュレス化が進む上で、デジタルを苦手とする人たちも含めた社会全体の発展について考えよう。	

自分と相手との違い

情報

LHR

道徳

ねらい

- ・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・文字だけで伝えると、感情が伝わらないので、誤解されやすいことに気付く。

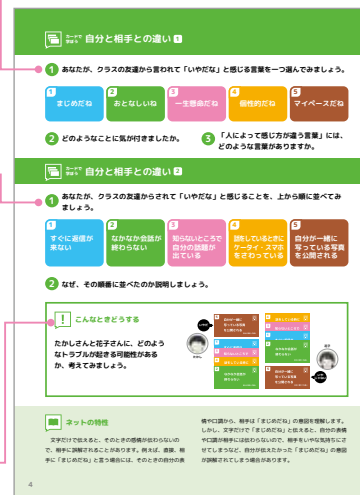


P16のモデル
指導案(小学校高
学年向け)も参考
にしてください。

- ・自分の「いやな言葉」や「いやなこと」が相手の「いやな言葉」や「いやなこと」と同じではないことに気付くようにするため、グループやクラスで「いやな言葉」や「いやなこと」を共有させる。

- ・「まじめだね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の印象の違いについて、実演するとよい。

- ・「いやなことをしないようにしよう」という指導では、「自分のいやなことを相手にしなければ大丈夫」（自分の「いやではないこと」ならしてもOK）となってしまう、コミュニケーショントラブルの要因になってしまうことに気付くようにする。



SNSで情報を上手に伝えてみよう

情報

LHR

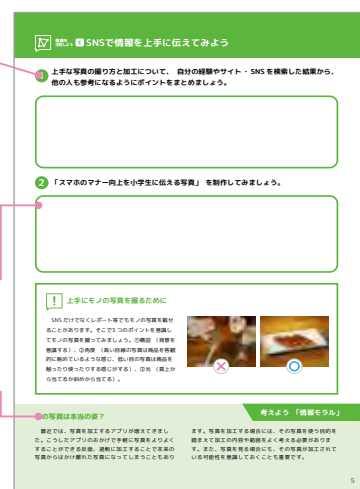
ねらい

- ・上手に伝えるための写真の撮り方のポイントを考えることができる。
- ・写真は加工されている可能性があることに気付く。

- ・写真の撮り方について、人物だけでなく、風景や物の撮り方などを含めて、ポイントを共有させる。

- ・スマホのマナー向上を1枚の写真で小学生に伝えるにはどのような写真が望ましいか、内容や構図を考え、実際に制作させる。
- ・制作した写真は、スマホミーティング等での活用を検討する。

- ・技術の進歩により、写真や動画を加工することが容易であり、加工された写真や動画に惑わされないよう心掛ける。



SNSで情報を上手に検索しよう

ねらい

- 様々な検索方法とその特徴を理解することができる。
- 検索結果の信頼性について考えることができる。

情報

LHR



P27のモデル
指導案を参考にし
てください。

- 自分たちで検索するためのテーマを決める。例えば、「地域の美味しいお店」、「地域の防災対策」など、できるだけたくさんの情報があるテーマがよい。
- 答えが一つでないテーマを選ばせる。

- グループごとに、分担して情報を検索できるようにする。
- 例えば、検索サイトで調べる人、SNSで調べる人、口コミサイトで調べる人など、多様な方法で分担できるとよい。

☑️ SNSで情報を上手に検索しよう

について、グループごとに複数のサイトやSNSを参照して情報を集めよう。

調べたこと	使ったサイトやSNS

① 情報を上手に検索するポイント

情報を検索する場合は、「サッカー 日本代表」のようにキーワードを入力した検索エンジンで調べよう。また、「日本代表のメンバー」や「日本代表の試合結果」など、具体的なキーワードを入力すると、より正確な情報が得られる。また、検索結果の信頼性を確認するために、複数の情報源を参照しよう。



データに注意しよう

検索結果では、様々なデータが提供されます。例えば、人口や面積などの数値データ、地図などの視覚データ、動画などのメディアデータなどがあります。これらのデータを適切に活用し、必要な情報を抽出しましょう。

考えよう「情報モラル」

また、インターネットには、様々な情報が溢れています。その中には、正確な情報だけでなく、誤った情報や虚偽の情報も含まれています。情報の信頼性を判断し、適切な情報を選択しましょう。

- 検索結果の扱いについて、特にデータや口コミなどの信頼性について考えさせる。
- 信頼性の高い情報と低い情報の違いを理解できるようにする。

災害時SNSの活用

ねらい

- 災害発生時に備え、自分にできることは何かを考える。
- 情報を比較・検討し、要点を伝えることについて事例を基に考える。

情報

LHR

- 災害時には通信が集中し、これまで使用していたサービスが使えなくなる可能性があるため、日頃から災害用伝言板などの使用について確認しておく必要があることや、災害時にネットワーク名（SSID）「00000JAPAN」を選択すれば、各社の公衆無線LANを無料で使えるようになることなどを調べるよう助言する。

- 災害時には、ウソやデマに惑わされないように、情報の発信者を確認する必要があることに気付くようにする。また、政府や自治体などは普段から災害情報などを発信しているため、こうしたアカウントを活用することについて考えるようにする。
- 防災ブック等を参考にさせる。

☑️ 災害時SNSの活用

あなたは、友人と旅行先から観光地に行っています。夕暮れ時、観光地が暗くなり、スマホが充電切れで使えなくなりました。友人は、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

2時間後、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。あなたは、観光地の名前を覚えておらず、スマホが充電切れで使えなくなりました。

- 多くの情報を収集・整理し、短時間で伝達するために、どのような視点が必要かを考え、話し合いにより共有させる。

- ・ ネットやゲームを「使いすぎ」してしまう経験を共有させる。
- ・ セルフチェックを実施し、自分が使いすぎてないかどうかを判断させる。ただし、チェックが多い児童・生徒が一概に「ネット依存」とは言えないことに留意する。

- ・ ネットやスマホを上手に活用している事例を共有させる。
- ・ 勉強や部活、趣味などにどのように活用しているか、上手な活用事例はクラス全体で共有させる。

ネット上で上手に議論しよう／セキュリティを見直そう

- ・自分たちで議論するためのテーマを決めさせる。例えば、「大人になって必要な3つの力」、「高校生で身につけるべき3つの力」など、必要な条件を議論しやすい内容がよい。

- ・議論のゴールを想像し、意見をとりまとめる司会役も必要になることがあることを理解させる。

- ・ ネットやSNS上、特に匿名の掲示板での議論では、相手から非難されたり、罵倒されたりすることがあることを踏まえ、そのようなときにどうすればよいかというクライシス・マネジメントの視点で考えさせる。

Ⅱ. スマホと上手に付き合う

いざ勉強しようと思っても、ついスマホを手に取ってしまう。スマホを使っているうちについつい勉強時間が減ってしまったり勉強はあきらめてしまったり。以下、勉強で役に立つさまざまなものをチェックしてみましょう。

- ☐ インターネットを利用し、SNSやブログ、ショッピングなどをするのを楽しんでいる。その時間が楽しみなほどなら、インターネットに夢中になってしまったり、勉強のやる気は減ってしまう。
- ☐ 勉強をするときは、インターネットの利用時間をひとりで決めておくことができる。
- ☐ 利用時間を減らしたり、やめようとしても、うまくいかなくて悩んでいる。
- ☐ インターネットの制限機能を使えるとうれしく、気持ちよくなった。手帳などにうたり、減らしたり、いらいらしない。
- ☐ インターネットを利用した活動の時間が、利用する前に予定していた時間を越えてしまった。
- ☐ インターネットの利用の仕方について、大切なことと危険性を学んだり、勉強の機会を増やした。
- ☐ インターネットに夢中になってしまったり寝てしまった経験がある。こまめに休んだりする。
- ☐ 夢中になっていると手帳などにうたがえられながらインターネットを使う。



海外ニュースアプリを使って英語学習
大人・高校生

大人は海外のニュースアプリを使って自分のニュースや興味のあるニュースを簡単に読むことが、単語力だけでなく、世界情勢や文化の知識の習得にもつながります。



フランス語アプリで勉強の記録
大人・高校生

大人はフランス語アプリで勉強の記録をつけてみる。学習履歴のグラフや進捗率を確認することで、モチベーションを高めたり勉強のペースを調整したり、苦手な分野を特定しやすくなりました。



自分で書いたメモを写真に撮って復習
大人・高校生

大人は自分のノートや勉強に書いたメモを写真に撮って復習したり、重要な情報をいつでも簡単に検索したり、復習に役立てたりすることができたり勉強のペースを調整したりすることができたり。



自分でまとめるのことも、保護者や学校の先生に相談し、一緒に勉強してみてもいいでしょう。大切な気持ちや行動の記録だけでなくさまざまなことにも使えます。ここでは、スマホやタブレットに活用している事例をご紹介します。

使用履歴が勉強アプリを使って時間管理
大人・高校生

大人は記録アプリで学習の進捗や時間を記録しています。その結果、どれくらい勉強をすればいいのかわかりやすくなり、勉強のペースを調整したり、勉強のモチベーションを高めたりすることができたり。



自分自身、周りの人の中でスマホやSNSの上手な使い方があったら良いと思います。

10

⑤ ネット上で上手に議論しよう

とは何。グループでネット上で議論し、必要条件を3つ挙げよう。

1 議論で出た議題

2 気付いたこと

1 ネット上で上手に議論するポイント

ネット上で議論する場面は、サイトのURL、などの情報と名前が明記される場合が多い。匿名で発言できるようなサイトは注意する。しつこく、迷惑メールなどのネット上で議論する場には、情報が多くなりすぎて整理することが難しくなることも多いので、議論している場から一旦退場し、整理してから発言する方がよくてもある。

⑥ セキュリティを見よう

セキュリティについて、自分たちが実行すべきことはたくさんある。以下の疑問のうち、自分でできるものをチェックして答えよう。

- ☐ ① パスワードに生年月日や誕生日などの文字を入れる。
- ☐ ② 無料のアプリは、作成者や配布元を確認し信頼している。
- ☐ ③ スマホにウイルス対策ソフトを入れている。
- ☐ ④ 自分のスマホにはロック機能のパスワードを設定している。
- ☐ ⑤ 家のWi-Fiネットワークを安全にする。
- ☐ ⑥ 公衆Wi-Fi（無料Wi-Fi）によってアクセスする。
- ☐ ⑦ パスワードは、定期的に同じものを何度も使用する。
- ☐ ⑧ 迷惑メッセージを削除したことがあ。
- ☐ ⑨ OS（WindowsやMacなど）は更新し続けている。
- ☐ ⑩ スマホで「ウイルスが検出されました」と表示されたことがあ。

上の10個のうち、あなたの利用状況を書き、危険だと思うものから順に危険で分類し、その理由を書いてみよう。

	理由	
危険度「大」		
危険度「中」		
危険度「小」		

⑦ ネット上で上手に議論するポイント

ネット上で議論する場面は、サイトのURL、などの情報と名前が明記される場合が多い。匿名で発言できるようなサイトは注意する。しつこく、迷惑メールなどのネット上で議論する場には、情報が多くなりすぎて整理することが難しくなることも多いので、議論している場から一旦退場し、整理してから発言する方がよくてもある。

⑧ セキュリティを見よう

セキュリティについて、自分たちが実行すべきことはたくさんある。以下の疑問のうち、自分でできるものをチェックして答えよう。

- ☐ ① パスワードに生年月日や誕生日などの文字を入れる。
- ☐ ② 無料のアプリは、作成者や配布元を確認し信頼している。
- ☐ ③ スマホにウイルス対策ソフトを入れている。
- ☐ ④ 自分のスマホにはロック機能のパスワードを設定している。
- ☐ ⑤ 家のWi-Fiネットワークを安全にする。
- ☐ ⑥ 公衆Wi-Fi（無料Wi-Fi）によってアクセスする。
- ☐ ⑦ パスワードは、定期的に同じものを何度も使用する。
- ☐ ⑧ 迷惑メッセージを削除したことがあ。
- ☐ ⑨ OS（WindowsやMacなど）は更新し続けている。
- ☐ ⑩ スマホで「ウイルスが検出されました」と表示されたことがあ。

上の10個のうち、あなたの利用状況を書き、危険だと思うものから順に危険で分類し、その理由を書いてみよう。

	理由	
危険度「大」		
危険度「中」		
危険度「小」		

⑨ ネット上で上手に議論するポイント

ネット上で議論する場面は、サイトのURL、などの情報と名前が明記される場合が多い。匿名で発言できるようなサイトは注意する。しつこく、迷惑メールなどのネット上で議論する場には、情報が多くなりすぎて整理することが難しくなることも多いので、議論している場から一旦退場し、整理してから発言する方がよくてもある。

⑩ セキュリティを見よう

セキュリティについて、自分たちが実行すべきことはたくさんある。以下の疑問のうち、自分でできるものをチェックして答えよう。

- ☐ ① パスワードに生年月日や誕生日などの文字を入れる。
- ☐ ② 無料のアプリは、作成者や配布元を確認し信頼している。
- ☐ ③ スマホにウイルス対策ソフトを入れている。
- ☐ ④ 自分のスマホにはロック機能のパスワードを設定している。
- ☐ ⑤ 家のWi-Fiネットワークを安全にする。
- ☐ ⑥ 公衆Wi-Fi（無料Wi-Fi）によってアクセスする。
- ☐ ⑦ パスワードは、定期的に同じものを何度も使用する。
- ☐ ⑧ 迷惑メッセージを削除したことがあ。
- ☐ ⑨ OS（WindowsやMacなど）は更新し続けている。
- ☐ ⑩ スマホで「ウイルスが検出されました」と表示されたことがあ。

上の10個のうち、あなたの利用状況を書き、危険だと思うものから順に危険で分類し、その理由を書いてみよう。

	理由	
危険度「大」		
危険度「中」		
危険度「小」		

⑪ ネット上で上手に議論するポイント

ネット上で議論する場面は、サイトのURL、などの情報と名前が明記される場合が多い。匿名で発言できるようなサイトは注意する。しつこく、迷惑メールなどのネット上で議論する場には、情報が多くなりすぎて整理することが難しくなることも多いので、議論している場から一旦退場し、整理してから発言する方がよくてもある。

⑫ セキュリティを見よう

セキュリティについて、自分たちが実行すべきことはたくさんある。以下の疑問のうち、自分でできるものをチェックして答えよう。

- ☐ ① パスワードに生年月日や誕生日などの文字を入れる。
- ☐ ② 無料のアプリは、作成者や配布元を確認し信頼している。
- ☐ ③ スマホにウイルス対策ソフトを入れている。
- ☐ ④ 自分のスマホにはロック機能のパスワードを設定している。
- ☐ ⑤ 家のWi-Fiネットワークを安全にする。
- ☐ ⑥ 公衆Wi-Fi（無料Wi-Fi）によってアクセスする。
- ☐ ⑦ パスワードは、定期的に同じものを何度も使用する。
- ☐ ⑧ 迷惑メッセージを削除したことがあ。
- ☐ ⑨ OS（WindowsやMacなど）は更新し続けている。
- ☐ ⑩ スマホで「ウイルスが検出されました」と表示されたことがあ。

上の10個のうち、あなたの利用状況を書き、危険だと思うものから順に危険で分類し、その理由を書いてみよう。

	理由	
危険度「大」		
危険度「中」		
危険度「小」		

⑬ ネット上で上手に議論するポイント

ネット上で議論する場面は、サイトのURL、などの情報と名前が明記される場合が多い。匿名で発言できるようなサイトは注意する。しつこく、迷惑メールなどのネット上で議論する場には、情報が多くなりすぎて整理することが難しくなることも多いので、議論している場から一旦退場し、整理してから発言する方がよくてもある。

⑭ セキュリティを見よう

セキュリティについて、自分たちが実行すべきことはたくさんある。以下の疑問のうち、自分でできるものをチェックして答えよう。

- ☐ ① パスワードに生年月日や誕生日などの文字を入れる。
- ☐ ② 無料のアプリは、作成者や配布元を確認し信頼している。
- ☐ ③ スマホにウイルス対策ソフトを入れている。
- ☐ ④ 自分のスマホにはロック機能のパスワードを設定している。
- ☐ ⑤ 家のWi-Fiネットワークを安全にする。
- ☐ ⑥ 公衆Wi-Fi（無料Wi-Fi）によってアクセスする。
- ☐ ⑦ パスワードは、定期的に同じものを何度も使用する。
- ☐ ⑧ 迷惑メッセージを削除したことがあ。
- ☐ ⑨ OS（WindowsやMacなど）は更新し続けている。
- ☐ ⑩ スマホで「ウイルスが検出されました」と表示されたことがあ。

上の10個のうち、あなたの利用状況を書き、危険だと思うものから順に危険で分類し、その理由を書いてみよう。

	理由	
危険度「大」		
危険度「中」		
危険度「小」		

⑮ ネット上で上手に議論するポイント

ネット上で議論する場面は、サイトのURL、などの情報と名前が明記される場合が多い。匿名で発言できるようなサイトは注意する。しつこく、迷惑メールなどのネット上で議論する場には、情報が多くなりすぎて整理することが難しくなることも多いので、議論している場から一旦退場し、整理してから発言する方がよくてもある。

⑯ セキュリティを見よう

セキュリティについて、自分たちが実行すべきことはたくさんある。以下の疑問のうち、自分でできるものをチェックして答えよう。

- ☐ ① パスワードに生年月日や誕生日などの文字を入れる。
- ☐ ② 無料のアプリは、作成者や配布元を確認し信頼している。
- ☐ ③ スマホにウイルス対策ソフトを入れている。
- ☐ ④ 自分のスマホにはロック機能のパスワードを設定している。
- ☐ ⑤ 家のWi-Fiネットワークを安全にする。
- ☐ ⑥ 公衆Wi-Fi（無料Wi-Fi）によってアクセスする。
- ☐ ⑦ パスワードは、定期的に同じものを何度も使用する。
- ☐ ⑧ 迷惑メッセージを削除したことがあ。
- ☐ ⑨ OS（WindowsやMacなど）は更新し続けている。
- ☐ ⑩ スマホで「ウイルスが検出されました」と表示されたことがあ。

上の10個のうち、あなたの利用状況を書き、危険だと思うものから順に危険で分類し、その理由を書いてみよう。

	理由	
危険度「大」		
危険度「中」		
危険度「小」		

- ・ ネットやゲームで「危険だな」と感じた経験を共有させる。
- ・ チェックリストを実施し、自分のセキュリティ意識を判断させる。
- ・ チェックリストの内容を、危険度「大」「中」「小」の三段階にわけさせ、危険度を考えさせる。その際、個人情報漏洩のリスク、金銭被害のリスク、迷惑メール増加のリスクなどについて考えさせる。

ネットで体験した嫌なこと

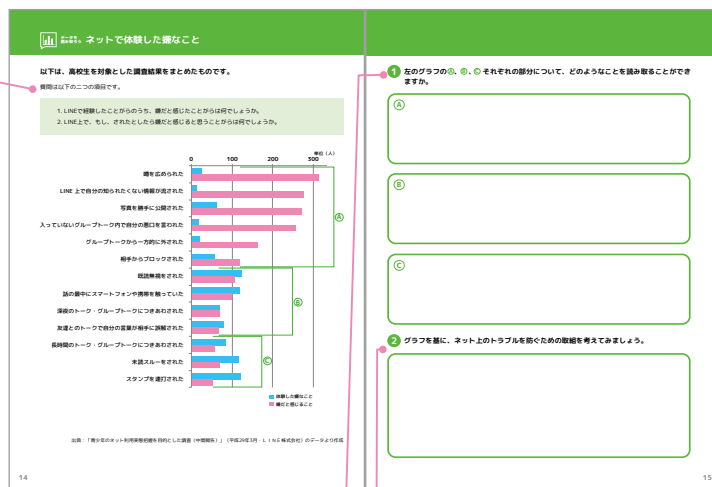
情報

LHR

ねらい

- ・「体験した嫌なこと」と「されたら嫌だと感じること」には違いがあることに気付く。
- ・グラフから必要な情報を読み解き、ネット上のトラブルを防ぐための取組を考える。

- ・LINE上で「体験した嫌なこと」は、未読スルー、スタンプ連打などが多いのに対して、「されたら嫌だと感じること」は、噂の流布、知られたくない情報の公開、写真の公開などが多いという違いに気付くようにする。



- ・「体験した嫌なこと」と「されたら嫌だと感じること」には、項目によって割合の違いがあることに着目し、考えられることを分析させる。

- ・ネット上のトラブルを防ぐために、どのようにすれば嫌なことを減らすことができるか、グループやクラスで討議し、より妥当な方法を引き出すようにする。

「見えないお金」と上手につきあおう

政治・経済

家庭

情報

ねらい

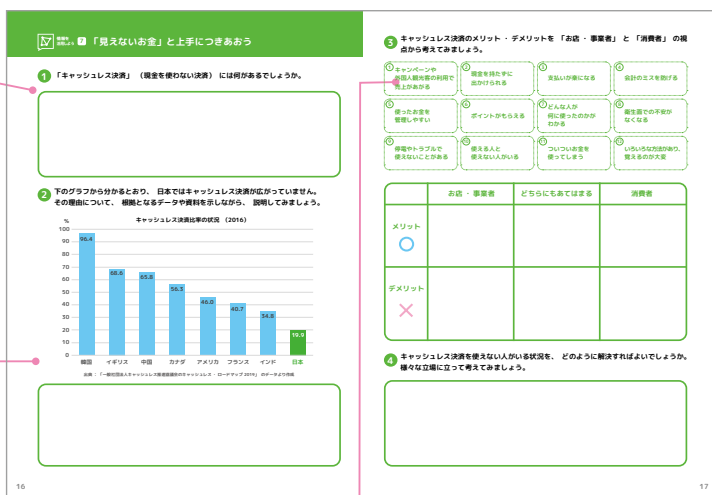
- ・キャッシュレス決済のメリット・デメリットを様々な立場から多面的に考えることができる。
- ・消費者として、キャッシュレス決済を使う場合に気をつけなければならないことを考えることができる。



P27のモデル
指導案を参考にし
てください。

- ・子どもたちが日常的に使っている決済方法、例えば、交通系（SuicaやPASMOなど）やPayPay、LINE Payといったものを挙げさせる。

- ・現金を落としても返ってくる「治安のよさ」、偽札かどうかを気にしなくてもよい「日本円の信用の高さ」、よく知らないから「使うのが不安」など、根拠となる資料を基に説明させる。なお、1位の韓国は、クレジットカードの利用率が非常に高い。



- ・「⑥ポイントがもらえる」というカードは、消費者だけのメリットかどうかを考えさせる。ポイントを配ることで、次からもそのサービスや決済方法を使おうとする消費者を増やすことができるなど、消費者だけのメリットではなく、お店や事業者のメリットでもあることに気づかせる。

あなたのアカウント情報が流出したら／先輩がネットで知り合った人と会おうとしていたら

情報

- ・IDやパスワードが流出する原因の一つとして、セキュリティが脆弱な無料アプリや無料サービスなどの利用がある。そこで、IDやパスワードの使い回しの危険性について考えさせる。
- ・乗っ取りやなりすましを防ぐためには、IDやパスワード入力の他に、セキュリティコードの入力やスマホ上でのログイン許可などの2段階認証が有効であることを伝える。

- ・「会ってもよい」「絶対に会ってはいけない」という0か1かの判断ではなく、どのような危険が考えられるかを想像できるようにする。

あなたのアカウント情報が流出したら

ある日、あなたのところにいくつかのオンラインゲームサイトからメールが届きました。

あなたのアカウント情報が流出した可能性があります。アカウントが乗っ取られて他の人のメールを送っている可能性があります。

このとき、あなたはどのように対応しますか。

なぜ、他の人にもパスワードが漏れたのでしょうか。考えられる可能性をお答えください。

先輩がネットで知り合った人と会おうとしていたら

あなたの先輩の大学生が、ネットで知り合った人と会いたいのを、あなたにも一緒に来てほしいと言ってきました。

あなたは、「会ってはいけない」という0か1かの判断ではなく、どのような危険が考えられるかを想像できるようにする。

保護者のみなさまへ

P9を参照してください。

ネット・ケータイ・スマホトラブル分類表

親性のネットに関するトラブルは、大きく以下のように分類することができます。

1. 長時間利用	2. 高額課金	3. 不適切サイトの閲覧	4. 出会い
5. 著作権の侵害	6. 不適切情報の発信	7. 個人情報情報の漏洩	8. 悪口・いじり

① 子供と一緒に、親しやすいと思うトラブルにチェックを付けながら話し合ってください。

② アプリやフィルタリングの対策を考慮しましょう。

③ 大きく3つの対策が重要です。

A 家庭のルールを考案しよう	P20～21へ
B フィルタリングやアプリの設定	P22～23へ
C インターネットにおけるコミュニケーションの特性	P24へ

ネット上に不適切な情報が掲示されたら

子供自身が気を付けていたとしてもトラブルに巻き込まれることがあります。

子供や保護者から相談を受けたときに適切な対応方法を事前に知っておくことは有効です。ここではネット上に不適切な情報が掲示された場合を想定して対処方法を見ていきましょう。

典型事例

中学2年生のA君は、自分が写っている写真が加工された状態でネット上に無断で公開されているのを発見しました。誰がネットに掲示したかは分かりません。困ったA君は母親に伝え、母親は驚いてすぐに学校に相談しました。

STEP1
対応方針決定

STEP2
手段検討

STEP3
削除要請

STEP1 対応方針決定

第1に、どのような対応をすべきかを決定する必要がありますが、インターネットの特性の一つとして、その拡散性の高さがあります。不適切な情報がネット上に拡散してしまうとそれをすべて消すことは困難となります。よって、まず対応すべきことは現在発生している被害の拡大を防ぐことです。そのためにはA君の写真をネット上から削除又は非公開にすることが有効です。

※P3531の対応フロー図の「①違法情報・権利侵害情報」のうち、「権利侵害情報」として対応を進めています。

削除依頼をする際の下準備

削除依頼をする際には主に以下の情報が必要になりますので、事前に準備し、保存しておくといでしょう。

- ☐ 載っている場所：WebならURL、アプリならどの画面か
- ☐ 載せられた日時：載せられた年月日時分秒
- ☐ 載っている内容：具体的に問題がある内容
 - ※載っている内容をキャプチャ画像等で保存してください。
- ☐ その掲載で誰が被害を受け、どう困っているのかの説明文章



自殺予告等の緊急時の対処法

自殺予告や自殺を呼びかける書き込みで、その内容から緊急度が高いと推察される情報が掲示されている場合は、一刻を争う対応（発生未然阻止）が必要です。その場合には警察に110番通報をしてください。

★1：P.35参照

<https://www.npa.go.jp/cybersafety/Homepage/homepage3.html>

必ずしも緊急の対応を要しない内容の書き込みを発見した場合には、最寄りの警察署又は都道府県警察サイバー犯罪相談窓口へ情報提供してください。

都道府県警察本部のサイバー犯罪相談窓口等一覧 <https://www.npa.go.jp/cyber/soudan.htm>

STEP2 手段検討

ネット上から削除又は非公開するための削除依頼の連絡先は下記が考えられます。

- A. ネットに掲載した本人
- B. ネットサービス事業者
- C. その他専門機関

「A. ネットに掲載した本人」に対し削除依頼する場合は、サービス内にメッセージ機能等があれば直接連絡して削除請求をすることが可能で、迅速な解決が見込める可能性があります。しかし、強制力はないため、掲載者本人の判断に委ねられますし、コミュニケーションがうまくいかず相手を刺激してしまい、トラブルが悪化してしまうことも考えられます。

今回の事例では掲載者本人の特定が難しい事案ですので、Aが選択しにくいいため、B,Cを検討することとなります。



メッセージングサービスでのやりとり

LINE等特定の相手とのコミュニケーションを目的としたメッセージングサービス内で不適切な画像等がやり取りされるケースがあります。

このケースでは、ネットサービス事業者が個々の通信内容にアクセスしてしまうと法令上保障されている「通信の秘密」を侵害しうるため、ネットサービス事業者は通信内容にアクセスできません。この場合は不適切な画像等を送受信している人に直接削除を求めることとなります。

STEP3 削除措置要請

「B. ネットサービス事業者」への削除措置の要請は、当該サービスに設置している「お問合せ窓口」から行います。ネットサービス事業者は、その内容を独自の利用規約や運用基準に照らし合わせ削除の要否を判断します。しかし、サービス方針によって対応が異なるため、要求どおりにならない可能性もあります。

著作権侵害や名誉毀損等の権利侵害事案に関しては、プロバイダ責任制限法に基づく送信防止措置の手続きがガイドライン化されています。

プロバイダ責任制限法に関する解説、ガイドライン、書式等 <http://www.isplaw.jp/>

今回の事例のようにA君のプライバシー権等に関係する権利侵害の事案ですので、プロバイダ責任制限法に基づく送信防止措置依頼を行うこともできます。

対応方法や連絡先が分からない場合は、下記の機関に相談してもよいでしょう。

違法・有害情報相談センター（総務省委託） <http://www.ihaho.jp/>

法務省インターネット人権相談受付窓口 <http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>

「C. その他専門機関」に対して、専門機関からネットサービス事業者への削除措置の要請（以下「削除依頼」といいます）する場合は、専門機関が設置している通報フォームから行います。専門機関では、削除依頼が可能な情報の種類が細かく定められており、内容によっては対応できない場合もあります。削除依頼が可能な情報については、個人では手続きが難しい国外サイトへの削除依頼も対応してもらえることがあります。しかし、専門機関からの削除依頼を受け取っても、全ての情報が削除されるわけではありません。

なお、警察ではネット上に書き込まれた情報の削除依頼等の対応はしていません。

以下は主な専門機関となります。

セーフライン <https://www.safe-line.jp/>

セーフラインでは、児童の裸の動画画像やいじめの動画画像など深刻な被害をもたらす情報について通報を受け付け、ガイドライン（削除依頼ができる情報の種類が定められているもの）に該当するものについて削除依頼を実施しています。



発信者への法的措置★²

発信者への対応の一つとして、法的措置を求めることが考えられます。法的措置には、刑事事件として警察が介入するケース（犯罪捜査）と民事事件として発信者に法的請求（損害賠償請求等）するケースがあります。

民事事件のケースでは、発信者を特定する必要がありますが、ネットサービス事業者が発信者情報の開示を請求する場合には、プロバイダ責任制限法に基づくガイドラインも存在します。

プロバイダ責任制限法発信者情報開示関係ガイドライン

https://www.teleso.or.jp/ftp-content/consortium/provider/pdf/provider_hguideline_20180208.pdf

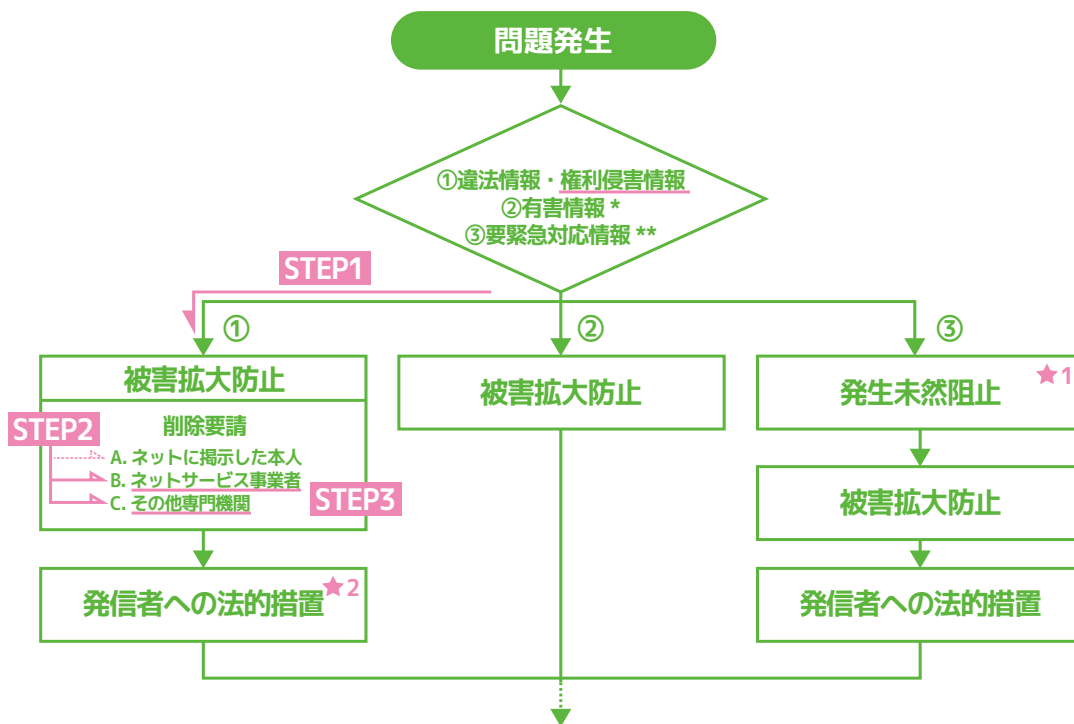
この開示請求は、第三者となる学校や教員からの申請が行えず、児童・生徒本人や保護者からの申請が必要になることや、ネットサービス事業者とインターネットサービスプロバイダの両方に照会するため、開示まで時間を要することがあります。開示条件等を理解した上で請求するかどうかを判断しましょう。

もし、対応方法や連絡先が分からない場合は、以下の機関に相談することができます。

違法・有害情報相談センター（総務省委託） <http://www.ihaho.jp/>

また、発信者情報の開示請求については専門的な知識が必要になるため、弁護士に相談することも検討しましょう。

参考：対応フロー図



*有害情報：遺体の画像等、法令には抵触しないが社会的通念上問題であると認識されうる情報

**要緊急対応情報：殺人・爆破・自殺予告等、発生未然防止のために対応に急を要する情報



活用の手引



S N S 東京ノート (活用の手引)

東京都教育委員会 印刷物登録番号 令和2年度第106号

編集・発行 東京都教育庁指導部指導企画課

所在地 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03-5320-6848



制作 東京都教育委員会

一般財団法人LINEみらい財団

静岡大学教育学部准教授 塩田真吾

アラサキデザインスタジオ

- ・この教材は、東京都教育委員会とLINEみらい財団が締結した協定「『SNS東京ルール』共同研究プロジェクト」の成果物です。
- ・本教材の著作権は、東京都教育委員会とLINEみらい財団が共同で保有しています。
- ・本教材は、児童・生徒・保護者への啓発・教育や教職員への研修を目的として、無償で提供する場合に限り、自由に利用することができます。
- ・本教材の電子データは「とうきょうの情報教育」ポータルサイトからダウンロードできます。 URL <https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp>